

平成29年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成30年4月2日
研究・研修課題名	骨粗鬆症マネージャー資格更新のための研修補助
研究・研修組織名（所属）	島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部
研究・研修責任者名（所属）	川本晃平（リハビリテーション部）
実施者名研究・研修責任共同（所属）	なし

目的及び方法、成果の内容

①目的

骨粗鬆症マネージャーは、メディカルスタッフ（医師、歯科医師以外の医療従事者）が骨粗鬆症領域における専門スタッフとして基本的知識と技能を有し、その水準を向上させる目的で日本骨粗鬆症学会が認定する資格である。本資格は取得後、5年毎の資格更新が義務づけられている。

本研修者は上記の資格を有しており、資格更新に必要な単位を学術大会での出席により取得することを目的とした。

②方法

第19回日本骨粗鬆症学会に参加することで10単位を取得した。さらに骨粗鬆症リエゾンサービス指定講演を聴講することで5単位を取得した。

③成果

第19回日本骨粗鬆症学会に参加することで10単位を取得した。骨粗鬆症リエゾンサービス指定講演である「サルコペニアとフレイル、栄養、運動」、セミナーとして「骨粗鬆症による骨卒中-高齢化社会における現状と課題-」、「骨粗鬆症リエゾンサービスの実践：レクチャー&ディスカッション」、「骨粗鬆症リエゾンサービスの現状と課題」、シンポジウムとして「骨粗鬆症診療の地域への展開」などを拝聴した。

昨今、加速的に高齢化が進行しており、転倒が原因で発生する脆弱性骨折はADL・QOLの低下を招くだけでなく、生命予後も悪化させることから「骨卒中」と呼ばれることもあり注目されている。当院でも骨粗鬆症リエゾンチームが発足し、これらを予防し、再発を防ぐための活動が活発になってきている。

本学会を通じて骨粗鬆症に関する最新の知見や他院における活動報告、地域での骨粗鬆症リエゾンサービスの拡充に向けた具体的な戦略など我々の活動をさらに発展させるための多くの知見を得ることができた。

島根県ではまだ骨粗鬆症リエゾンサービスの活動は限定的であり、専門的な知識を有する骨粗鬆症マネージャーが先頭に立ってこれらの活動をより広めていきたい。